

令和3年度事業「西川町議会事務事業評価シート」
議会による事務事業評価（西川町議会）

No.	予算科目	事業名
4	8款2項2目	マイロード整備事業

1 項目別評価

評価項目	評価点	意見等
1 必要性 ・町民にとって必要な事業か ・社会情勢からみて実施が適切か ・町が主体となって関与すべき事業か	19	町民にとって道路環境の整備は重要であり、美化及び観光面から見ても必要である。また、区によって若干の偏りが見られるが、町民の自助努力への町からの支援という意味でも必要性は高い。
2 妥当性 ・他事業とサービスが重なっていないか ・他自治体と比べサービスの対象、内容は適切か ・町民目線として適切か	20	妥当性は高い。より町民が利用しやすいようにすべきである。
3 効率性 ・事業の手法は効率が良いか ・コスト削減の余地はないか ・受益者負担は適正か	15	各地区からの要望があつての事業であるので、どちらかと言えば高い。各地区に必ず技術的な知識をもった町民がいるとは限らず、効率的に実施されているかは微妙である。この部分に関しては、建設水道課がアドバイスするなど何らかの関与があつた方が、より効率的にできるのではないかと。令和3年度は2地区から7件の事業があつた。前年度より増加しており、効率性は上がった。
4 成果 ・事業の目的が達成されているか ・前年以前と比較し成果は上がっているか	16	ある程度の利用があるので、成果はあるものと言える。ただ2地区のみの利用となっており、全地区の利用度を高めるべきである。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	1 きわめて良好である 100点	70
	2 良好である 75～99点	
	③ おおむね適正である 50～74点	
	4 問題がある 25～49点	
	5 かなり問題がある 1～24点	
	6 不適正である 0点	

3 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由
3	1 拡充する	地区によって偏りはあるものの、毎年申請があることから、事業としては必要性があり、引き続き実施していただきたい。より良い事業とするため、要綱の見直しは必要である。また、少子高齢化に伴う担い手不足などもあり、継続していくためには、現実を把握しそれに即した改善が必要である。
	2 現状のまま維持する	
	③ 改善し継続する	
	4 見直しのうえ縮小する	
	5 期間設定し終了	
	6 廃止する	

4 評価に係る意見等

事業の総合評価に関する主な意見、特記事項及び今後の方向性の理由等
この事業は、本来の目的から離れてきている。少子高齢化で区の事業ができなくなってきているなか、実際のこの事業の作業については、建設業の方に大部分任せているのが現状である。実施要綱は平成17年に施行してから一度も見直しをしていない。現実に即した要綱にすべきだ。 また一方では、地区の負担（人件費）について、各地区でどのように考えているのか、町が把握する必要があるのではないかと。そのことを把握することにより、今後の当該事業の方向性も見えてくるものと思われる。